

濃蜜

オフィス  
進行中

花緒みゆ・作  
こりすキョーコ・絵

年上  
カノジョに  
嵌りました。

年上カノジョに嵌りました。  
～濃蜜オフィス進行中

一秒先の未来の自分がどうなっ  
ているかなんて、いい大人おとななら  
予想がつく。

けど、予想がひっくり返るのが  
人生ってやつ。

女性の好みを列挙れつきよすることほど、  
無駄むだな時間はないと、

僕は痛烈つうれつに実感している。

だって、今僕が迫ろうとしてい  
るこの女性は、僕の好みからは  
遥かに遠い。



「さくら教官は、僕の好みのタイプじゃありません！」

なのに……

「こんなに年上で、可愛げなく  
て、気が強くて、意地悪で……  
こんなに好きになる要素がない  
人なのに……っ」





なのに……

もう……

もう……

「好きだっつっっ！」

痺<sup>しび</sup>れる痛みに襲<sup>襲</sup>われたって、この手を離してなんかやらないかな。



「あなた……何を言ってるの!？」

「恋は暴走列車なんです！」

一秒先の未来の自分が、誰を好  
きになるかなんて、誰にもわか  
らない……！

僕は、いかにも女の子っぽい子  
が好きだった……

『可愛い』を『カワイイ』って  
書くような。





愛されカールを栗色くりいろにカラーリ  
ングしたような、儂はかなげな女の子  
が理想だった……

「この手を離して！」

「イヤだ！」

威勢のいい言葉とは裏腹に、  
さくら教官のカラダが緊張する。

恥ずかしさを我慢しながら、  
シーツを握りしめて……

「イマドキ、処女でもそーゆー  
仕草、しぐさしませんから」

「ちよ……っつと、待って……！」



強気だったさくら教官の顔が、  
いまにも泣きそうになる。

この表情が、目に焼きついて離  
れないんだ！

そのことに気がついた時から、  
僕はもう……

「僕が好きな女性はさくら教官  
なんですって、何回言ったら理  
解しますか」

「だったら私も言わせてもらおうわ。私は仕事ができるイイ男しか好きにならないんだか……らっ！」





僕は再び股間こかんに、痺れる痛みを  
お見舞いされた。

床ゆかに頭を擦りつけて、その痛み  
に耐たえる。

ああ、でもこれだけは伝えなき  
や……！！

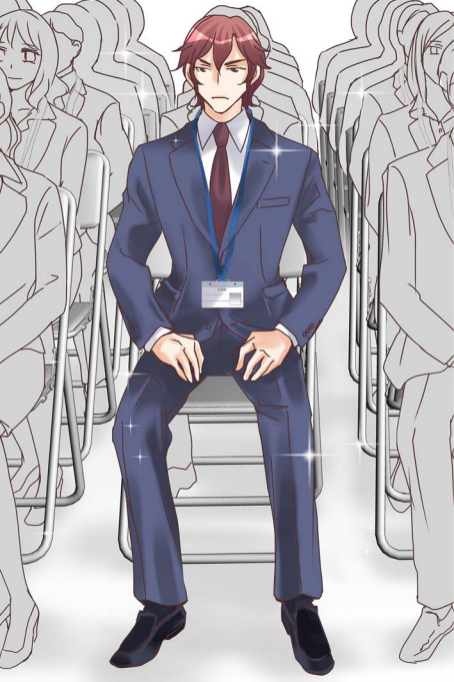
「じゃあ、待っててください。  
僕がもつともつと……イイ男に  
なるまで」



こんな懇願こんがんを、僕がさくらら教官  
にすることになるとは……

入社式には思いもしなかった。

大手下着メーカーの後継者・  
村崎<sup>むらさき</sup>アキラは、身分を隠して、  
新入社員として修業の日々……



新人研修を担当している鬼塚おにづかさ  
くらは、一人も落ちこぼれを出  
さないように、厳しく指導しどする  
のが信念……

……だったのに。





アキラの全身全霊の告白に、  
さくらは次第しだいに心とカラダを  
開いていき……





そして、社長の座をめぐって、  
アキラと後継者争いをしている  
社長秘書のデキる男、高津政。  
たかっせい



高津もまた、  
さくらに想おもいを寄せていて……







新入社員のアキラとベテラン教官さくらの「指導」が、思わぬ方向に進んでゆく……!?



エロティック

オフィス

ラブコメディー!!

『年上カノジョに嵌りました。  
～濃蜜オフィス進行中』

---

花緒みゆ / 作

こりすキョーコ / 絵

©2016 花緒みゆ / こりすキョーコ

©parsola inc.